

ひなた宮崎 農村地域活性化 シンポジウム

開催日時

2月18日火

13:30~16:30
(開場13:00)

開催のご案内

高齢化や人口減少に伴い、農業・農村では集落活動やコミュニティ機能の維持等が大きな課題となっています。中山間地農業集落の進むべき方向性を考えるため、日本型直接支払制度や農村RMOなどの農業施策をキーワードに、中山間地の農村集落の現状、時代に即した集落支援の方法、活動手法を共有し、課題解決の方法を学ぶシンポジウムを開催いたします。

農業集落を支える地域づくり法人、集落協定等関係者、行政関係者など関連する多くの皆様のご参加をお待ちしております。

必見！中山間地“これから”のヒント ～農村集落の維持と挑戦～

お申込み
はこちら



Googleフォーム

- 開催方式** 会場参加(定員80名)およびオンライン(定員120名)によるハイブリット開催
- 開催場所** 宮崎県防災庁舎 防51号室(駐車場有り:県庁外来駐車場)
- お申込み方法** 右のQRコードまたは、裏面の申込書にご記入のうえ、FAXでお申込みください。
- 対象** 地域づくり法人、集落協定等関係者、行政関係者(県、市町村)など

プログラム

- 1 開 会** 13:30~
- 2 主催者あいさつ** (宮崎県農政水産部長 殿所大明)
- 3 問題提起** 13:35~13:50
(株)産直新聞社 代表取締役 毛賀澤明宏
- 4 講 演** 13:50~14:50
講師:弘前大学大学院 地域社会研究科 教授 平井太郎氏
『これからのむらづくりの第一歩』
- 5 事例発表** 14:50~15:10
佐田地域づくり協議会(島根県出雲市)
NPO法人スサノオの風 理事長 石橋正伸氏
- 6 パネルディスカッション** 15:20~16:20
ファシリテーター: (株)産直新聞社 毛賀澤明宏
パネラー: 講演講師 平井太郎氏(弘前大学)
事例発表団体 石橋正伸氏(島根県出雲市)
(株)ひのかげアグリファーム 事務局長
工藤庄吾氏(日之影町)
(一社)ススメル 代表理事
黒田駿平氏(日南市)
宮崎県中山間農業振興室長 下田透
- 7 閉 会** 16:30

※人手不足に対応した農村地域の機能維持・活性化について
多様な視点からディスカッション

〈休憩〉



日本の
ひなた
宮崎県

主 催 宮崎県

企画運営 株式会社 産直新聞社

～登壇者紹介～ 中山間地の“これから”のヒント満載!



弘前大学大学院 地域社会研究科 教授 平井太郎氏

弘前大学准教授を経て、2021年より現職。専門は社会学。中山間地における「ありがたい」の構築をテーマに全国の農村現場を訪問し、特に地域づくりにおける合意形成プロセスの研究に従事。集落支援員・地域おこし協力隊の全国研修会講師の他、農林水産省新しい農村政策の在り方に関する検討会委員、総務省地域力創造アドバイザー。近著に「地域でアクションリサーチ」(農文協、2022年)など。



NPO法人スサノオの風 理事長 石橋正伸氏(島根県出雲市)

佐田地域づくり協議会が進める農村RMO事業の事務局を担うNPO法人スサノオの風では、平成29年から「小さな拠点づくり」に関する啓もう活動に取り組み、その過程で農業・生活福祉・子育て・定住などの多様な分野の団体や地域住民と連携。これまで培った解決手法や体制をもとに、RMOでは有機の学校の開校・生活支援のスキーム作成・実証などに精力的に取り組み、持続可能な地域運営組織を目指している。

(株)ひのかげアグリファーム 事務局長 (日之影町 農林振興課 課長補佐) 工藤庄吾氏

平成28年に農地の保全や担い手の育成などを目的として、自治体が出資する株式形態の農業法人としては県内初となる(株)ひのかげアグリファームを設立。その後中山間地域等直接支払制度の56協定を5協定に広域化することで加算される交付金を活用し、同法人をプラットフォームとした農作業受委託システムを構築した。加速する高齢化と労働力不足に抗いつつ持続可能な農業を模索している。

(一社)ススメル 代表理事 黒田駿平氏(日南市)

酒谷地区村おこし推進協議会が進める農村RMO事業を、主に事務作業などの面でサポートしている。令和5年度に策定した地域づくりのビジョンの周知と具現化を進め、棚田の保全、棚田米のブランド化や旧児童館を活用したカフェの運営などによる地域資源活用、買い物やごみ捨てサポートをはじめとする高齢住民の生活支援に精力的に取り組んでいる。

問題提起・ファシリテーター 株式会社 産直新聞社 代表取締役 毛賀澤明宏(長野県)

直売所を核とした地域づくりに特化した全国誌「産直コペル」編集長。過去10年にわたり、宮崎県内の直売所巡回指導を重ねる。県の委託を受けて、農村集落を支える中間支援組織の宮崎県内、県外を調査訪問(令和6年度)。前年度には、複合型農業経営による生産者21名を調査訪問。これらの巡回指導や調査によって浮かび上がった中山間地域づくりの課題や先進地区の取組をもとに進行・問題提起を行う。

参加申込書

必要事項をご記入のうえ、下記宛先までFAXを送信いただくか、下のQRコードよりお申し込みください。

参加費無料! 事前申込制

申込締切
2025年2月11日まで

■お申し込みはこちら

Googleフォームから

<https://forms.gle/k4mD78oDYG16nVpv5>

FAX.0265-96-0939



団体名:	TEL:			
住所:	FAX:			
〒				
所属	氏名	E-mail	参加方法	懇親会への参加希望
			現地・オンライン	参加する・参加しない
			現地・オンライン	参加する・参加しない
			現地・オンライン	参加する・参加しない
			現地・オンライン	参加する・参加しない
			現地・オンライン	参加する・参加しない

※オンラインにお申し込みの方には、zoomのURLとミーティングIDを事前にメールでお送りします。 ※シンポジウム終了後に懇親会を企画しています。
※ご記入いただいた個人情報は、シンポジウム受付確認のみに使用させていただきます。